

ロシア経済・金融概況

Main Economic & Financial Indicators (Russia)

経済調査室

Economic Research Office

(照会先：石原尚子 naoko.isihara@uk.mufg.jp)

概況	消費、労働市場
<p>ロシア経済は、底堅く推移している。雇用情勢の改善と貸出の高い伸びに支えられ個人消費が好調に推移しているほか、4月の大統領選挙に合わせ政府支出が著しく増加したことなどから内需は堅調である。一方、欧州の景気低迷などを反映し外需の勢いは鈍化するなど内需と対照的な動きをしている。先送りされていた公共料金の引き上げが7月に実施されたことに加え、農作物の収穫が干ばつの影響で芳しくないことから食料品価格の上昇の可能性も強まっており、インフレ率は今後上昇傾向となろう。実質賃金上昇率の鈍化によって消費がある程度抑えられる上、更なる外需の鈍化からロシアの景気拡大ペースは今後減速すると見込まれる。</p> <p>ロシア政府は 2013-15 年の中期財政計画の中で、2013 年より財政支出を原油価格（ウラルブレント）と連動させるという新たな財政ルールを導入を明示した。その上で、向こう 3 年間で 20%程度の歳出増を予定しており、その財源は引き続き原油関連品目に対する課税によって補われることになっている。プーチン大統領は財政均衡に必要な原油価格の水準を 1 バレル当たり 90 ドル程度まで抑えるよう暗に求めていたが、実際の計画では同水準は 2012 年に 116.2 ドル、2015 年は 105.4 ドルとされている。</p>	<p>6月の小売売上は前年同月比+7.2%となり、2カ月連続で伸び率が上昇した。貸出や賃金の高い伸び、失業率の低下など個人消費を取り巻く環境は今のところ良好である。消費者心理についても景気後退以前の水準に戻りつつある。</p> <p>(前年比、%) 小売売上と家計への貸出の推移 (前年比、%)</p> <p>(資料)FactSet、ロシア中銀より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成</p>
<p>GDP</p> <p>第 2 四半期の実質 GDP 成長率（速報値）は、前年同期比+4.0%と前期から減速したものの、経済省の予測値である同+3.9%を上回った。個人消費が成長を下支えしたとみられている。ただし、個人消費については、今後、公共料金の引き上げや食料品価格の上昇などインフレ圧力が強まる中、弱含みとなる可能性は低い。ユーロ圏での景気低迷に伴う外需の減少も加わり、下半期の成長率は減速するとみられている。</p>	<p>物価、政策金利</p> <p>7月の消費者物価上昇率は、前年同期比 5.6%と延期されていた電気・ガスなど公共料金の引き上げが実施されたことを主因に前月の同+4.3%から上昇した。ロシア国内だけでなく世界的な干ばつの影響で農作物の収穫が芳しくない中、食料品価格の上昇圧力は強まっている。公務員を中心に賃金の上昇が続くなど需要サイドからのインフレ圧力も残る。中央銀行が掲げる 2012 年末のインフレ率の目標値である 5-6%の達成はより困難になってきている。中央銀行は、ロシア経済は堅調に推移しているとした上で、今後の食料品価格上昇の懸念などインフレ上昇期待が強まっている点を指摘、8月の金融政策委員会では政策金利であるリファイナンス金利を 8.0%に据え置いたものの、近い将来、利上げに踏み切る可能性のあることを示唆した。</p>
<p>実質GDP成長率と項目別寄与度</p> <p>(前年比、%)</p> <p>(資料)FactSetより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成</p>	<p>国際収支</p> <p>第 2 四半期の経常黒字（速報値）は 192 億ドルと、前年同期の 219 億ドルから減少した。足元の原油価格の下落によって、エネルギー関連品目の輸出のペースが減速したことや企業部門を中心に所得収支の赤字が前年同期の▲80.7 億ドルから▲196 億ドルへと拡大したことによる。</p> <p>一方、資本収支をみると、昨年夏以降、資本流出が続いていたが、今年 4 月の大統領選挙でプーチン氏が大統領に就任することが決まったことで当面の政治の先行き不透明感が払しょくされたことなどが作用し、第 2 四半期は 26 億ドルの資本流入超過となった。ただし、銀行部門では、116 億ドルの資本が流入（借入及び資産売却による）したが、企業部門では、前期に引き続き 144 億ドルの資本が流出している。投資家の潜在的なリスク回避性向が根強い状況下、これまでの資本流出傾向が収束したと結論づけるのは時期尚早であろう。</p>
<p>生産</p> <p>6月の鉱工業生産は前年同月比+1.9%と、5月の同+3.7%から減速した。製造業部門が同+3.4%と家電製品の生産低迷や石油関連品目の生産減少を背景に前月の同+7.0%から大幅減速した。一方、7月の製造業部門の購買担当者指数（PMI）は 52.0 と新規受注指数の改善を主因に前月の 51.0 から改善したものの、第 2 四半期の平均値である 52.3 を下回るなど、弱含みの展開となっている。</p>	<p>政府財政</p> <p>2013-15 年予算案が示された。事前に歳出の効率化が謳われていたが、連邦レベルでの歳出の伸びは軍事面での支出拡大を中心に向こう 3 年間でおよそ 20%増と高水準にあり、将来のインフレ懸念を残す内容となっている。歳入面での原油依存構造にも大きな修正がみられていない。</p>

## ロシア経済・金融概況

### 1. 年、四半期

	2009	2010	2011	11/Q2	11/Q3	11/Q4	12/Q1	12/Q2
名目GDP実額 (10億米ドル)	1,222.8	1,487.1	1,856.5	465.9	493.8	495.4	447.2	-
実質GDP成長率 (y/y, %)	-7.8	4.3	4.3	4.0	5.0	5.0	4.9	4.0
(民間消費支出) (y/y, %)	-3.9	3.3	4.8	6.1	7.2	7.7	7.2	-
(総固定資本形成) (y/y, %)	-14.4	5.8	8.0	4.9	7.9	13.2	15.0	-
鉱工業生産(実質) (y/y, %)	-9.2	8.3	4.8	4.8	5.1	3.3	4.1	2.3
小売売上(実質) (y/y, %)	-4.7	6.2	6.9	5.7	7.9	8.9	7.6	6.7
銀行貸出伸び率(民間部門) (y/y, %)	1.7	14.5	28.1	17.9	25.4	28.1	27.5	29.1
消費者物価上昇率 (y/y, %)	11.7	6.9	8.5	9.5	8.1	6.7	3.9	3.8
平均貸金上昇率(名目) (y/y, %)	9.1	12.8	11.7	11.2	11.2	14.5	14.4	15.8
失業率 (%)	8.4	7.5	6.6	6.6	6.2	6.3	6.5	5.5
貿易収支 (百万米ドル)	111,585	151,393	198,180	50,666	45,152	54,203	58,965	51,100
輸出額 (百万米ドル)	303,388	400,131	522,011	133,704	130,368	144,704	131,944	132,800
輸出伸び率 (y/y, %)	-35.7	31.9	30.5	37.3	33.7	27.4	16.5	-0.7
輸入額 (百万米ドル)	191,803	248,738	323,831	83,038	85,216	90,501	72,979	81,700
輸入伸び率 (% , y/y)	-34.3	29.7	30.2	42.9	24.7	18.3	12.1	-1.6
経常収支 (百万米ドル)	48,605	70,255	98,834	21,891	17,836	28,307	39,263	19,200
資本収支 (百万米ドル)	-43,502	-25,486	-76,214	-8,873	-20,185	-30,998	-32,818	2,600
対内直接投資 (百万米ドル)	36,500	43,288	52,879	11,156	12,097	13,955	959	5,600
外貨準備高 (百万米ドル)	424,692	448,778	462,686	480,142	496,367	462,686	463,810	465,128
対外債務残高 (百万米ドル)	467,245	488,940	545,350	538,859	527,785	545,350	565,437	-
株価指数	12,788	17,819	19,719	20,929	19,056	17,441	18,556	16,115
短期金利 (Interbank 3m)	15.02	5.49	5.36	4.54	5.14	6.95	7.11	7.21
Rouble/USD	31.736	30.377	29.403	27.986	29.173	31.210	30.164	31.070
Rouble/Euro	44.109	40.274	40.877	40.283	41.159	42.032	39.527	39.817
Rouble/GBP	49.535	46.945	47.115	45.637	46.925	49.045	47.375	49.135
原油価格(ウラル) (USD/バレル)	61.328	78.227	109.301	113.881	111.997	108.815	116.983	106.503

### 2. 月次

	11/12	12/01	2	3	4	5	6	7
鉱工業生産(実質) (y/y, %)	2.5	3.8	6.5	2.0	1.3	3.7	1.9	-
小売売上(実質) (y/y, %)	9.3	7.4	7.9	7.4	6.5	6.8	7.2	-
銀行貸出伸び率(民間部門) (y/y, %)	28.1	27.1	26.4	27.5	28.8	29.1	29.1	-
消費者物価上昇率 (y/y, %)	6.1	4.2	3.7	3.7	3.6	3.6	4.3	5.6
平均貸金上昇率(名目) (y/y, %)	17.1	14.9	16.2	12.4	14.6	15.8	17.0	-
失業率 (%)	6.1	6.6	6.5	6.5	5.8	5.4	5.4	-
貿易収支 (百万米ドル)	20,647	20,252	20,289	18,424	18,856	17,361	13,999	-
輸出額 (百万米ドル)	51,338	39,806	45,287	46,851	45,505	45,159	40,796	-
輸出伸び率 (y/y, %)	20.3	31.2	15.4	7.3	-0.8	3.5	-7.7	-
輸入額 (百万米ドル)	30,691	19,554	24,998	28,427	26,649	27,798	26,797	-
輸入伸び率 (y/y, %)	13.2	19.9	14.5	5.5	-1.7	-1.3	-3.4	-
株価指数	17,250	17,951	18,896	18,836	17,285	15,613	15,496	16,230
短期金利 (Interbank 3m)	7.214	7.196	7.110	7.044	7.073	7.195	7.378	7.442
Rouble/USD	31.549	31.343	29.770	29.362	29.468	30.933	32.823	32.495
Rouble/Euro	41.487	40.403	39.395	38.778	38.775	39.561	41.141	39.927
Rouble/GBP	49.191	48.610	47.043	46.457	47.142	49.209	51.046	50.652
原油価格(ウラル) (USD/バレル)	110.242	107.933	109.922	119.027	122.093	108.332	93.836	102.471

(注)貿易の値は国際収支から採用。ハイライトは速報値。

(資料) ロシア中央銀行、ロシア統計局、IMF、Bloomberg他

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。